

区自治協議会提案事業 事業評価書

中央区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	新潟市民の購買・余暇行動と「新潟市中心市街地」に関する調査 【事業費予算 882千円】
事業目的・概要	<p>中心市街地の活力低下、「まちなか」衰退の原因を見出し、「まちなか」を再生する要因を見出すため、新潟市民の「購買余暇活動と中心市街地」との関連性を解明する。H23年度に実施した高校生対象のアンケートの実績をふまえ、新潟市民4,000人を対象にアンケートを実施し、中心市街地の活性化に向けて必要な要因を解明し、提言書をまとめる。</p>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>◆調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査方法: 20歳以上の新潟市民4,000人を無作為抽出 郵送方式(無記名回答) ・質問内容: 「余暇に出かける商店街等やその目的」「交通手段」「インターネット等の通信販売」「性別」「家族構成」「居住場所」「通勤先」「年齢」「各商店街等の魅力度」 <p>◆分析及び提言: 中心市街地・「まちなか」の活性化に必要な要因を解明し、提言書作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年 4月～ : アンケート項目の検討・業務委託仕様検討 ・平成24年 8月～ : 発送準備(調査説明書検討・委託業者選定) ・平成24年 9月～10月 : 発送・集計 ・平成24年10月～ : 部会にて分析・要因解明 ・平成25年 1月～2月 : 提言書検討 ・平成25年 3月 : 提言書を区長に提出 <p>◎部会での検討会議回数: 12回(平成24年度)</p>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○調査にて、交通手段において車に依存していることが改めて明確となり、このことは高齢化社会のなか懸念があり、対策が必要。 ○郊外のショッピングセンターと比較し、中心市街地の評価が中央区在住についても低いことを考えると、更なる努力が求められる。 ○H23年度実施の高校生への調査・本年度実施の新潟市民への調査が土台となり、来年度実施予定の「中心市街地活性化フォーラム」へ繋がると思う。 ○分析・提言を部会で行うことにより、コストパフォーマンスが高いものになった。 ○客観的なデータにより分析することができたが、調査データのみでは対応できない課題もあり、具体的な提示が必要。 ○部会活動を通じ、課題の多さを改めて感じた。高齢化社会に対応する施策の展開が必要。
備考	